

多文化共生のまちづくり講座 第3回

「やさしい日本語に言い換え・書き換えてみよう」

講師：仲江千鶴さん（NPO 法人多文化フリースクールちば理事）

やさしい日本語 15のポイント

1. 一文を短くして、文の構造を簡単に

- ・ 1つの文に1つの情報
 - ・ 3つ以上のことをいう時は箇条書き
- 書くと話すは発出（こちらからの情報提供）になるので、話し方にも「やさしい日本語」をイメージするとより通じやすくなる。

2. 難しい言葉避け、簡単な言葉を使う

例) 挙手→手をあげて 記入→書く

3. 災害時に使われる言葉はそのまま使って（ ）で意味を補足

意味を考えてやさしくすることが大事。

例) 余震（後からくる地震） / 津波避難場所（高い波から逃げる場所） / 暗証番号（あなただけが知っている番号）
公共の交通機関（電車やバス）

4. 外来語（カタカナ語）はできる限り使わない

例) ライフライン＝日本語では電気・ガス・水道などを意味するが、英語では「命綱」。

5. 擬態語・擬音語は避ける

様子：きちんと、ちゃんと、たっぷり、じろじろ、ぐっすり、サッと
感覚：イライラ、うんざり、のんびり、ぼんやり、どっと、すっきり
音：がたがた・ガヤガヤ、ゴロゴロ

6. 動詞を名詞化したものは分かりにくい。動詞文で

例) 揺れがありました→揺れました 調査を実施しました→調査しました

7. あいまいな表現は避ける

- ・ 曖昧な表現は多用しない（ぐらい、ごろ 等）
- ・ 推測表現（多分、ようです、おそれがあります）では「～かもしれません」を使う *一つに統一
- ・ 複数の意味を持つ表現は使わない 例) 結構です→良いです・要りません

8. 二重否定の表現は避ける

例) 在留カード以外は必要ありません →在留カードを持ってきて ください。

例) 使えないわけではありません →使うことができます

9. 文末表現はなるべく統一する

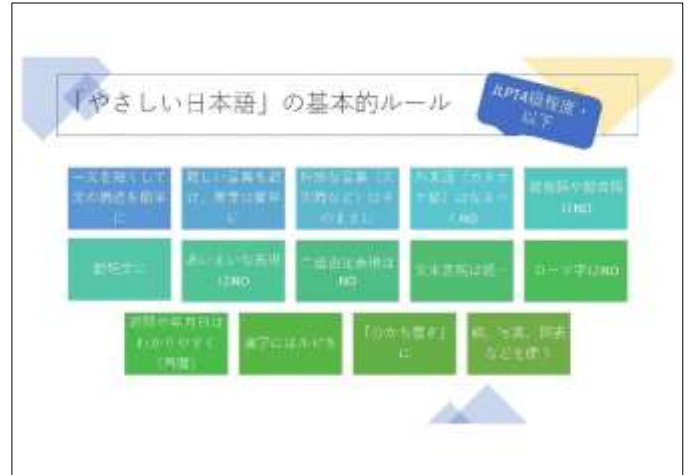
丁寧語：「です」「ます」を使う。尊敬語や謙譲語は使わない。

指示表現：「～してください」「～ましょう」は使わない。

可能・不可能：「～ことができる」を使う。「～れる」、「～られる」は使わない。

使役・受け身：動作する人を主語にした文にする。

例) 太郎君は先生にほめられました。→先生は 太郎君を ほめました。



『「外来語」言い換え提案』の活用
独立行政法人国立国語研究所 HP

<https://www2.ninjal.ac.jp/gairaigo/>



10. ローマ字は使わない

ローマ字は駅名や地名など、固有名詞を表記するために使用。

出身国によりローマ字の読み方が異なるため、混乱を招く可能性がある。

例) ike(池)→「アイク」 Youi suru (用意する)→「ユーイ スル」 と読んでしまったりする。

*ローマ字よりも、ひらがなやカタカナの方が読める人の方が実は多い。

11. 時間や年月日を外国人にも伝わる表記にする

- ・時間は12時間表記 例) 15時30分→午後3時30分
- ・年月日表記は、スラッシュを使わない 例) 2022/2/6→2022年2月6日
- ・元号は使わず西暦で表記 例) 平成30年2月11日→2018年2月11日
- ・「〇〇～××」ではなく、「〇〇から××まで」と表記 例) 図書館は、午前9時から午後5時まで開いています。

12. 漢字の使用量に注意 全ての漢字にルビをふる

ルビは漢字の上部、または漢字の後に()書き

例) 手を拭いてください。(×吹く) *同音異義語など、漢字の方がわかりやすい場合は漢字で

13. 文は、文節ごとに「分かち書き」で書く

例) 今朝、地震がありました。 → 今日の(ね)、朝(ね)、地震が(ね)ありました。*(ね)は書かない

- ・文節ごとにスペースを入れて、読みやすくする。
- ・文節とは、意味が不自然にならない程度に分を区切ったときの最小単位。
- ・文の途中に「ね」を入れて切ってもおかしくないところで切る。
- ・英語文化圏は分かち書きで書いてあるので、日本語を分かち書きにするととても読みやすくなる。

14. 絵、写真、図表などを使って分かりやすくする

15. 伝達目的を意識する

- ・伝えるべきことは何か。読み手に取って必要な情報は何か。必要ならタイトルもOK
- ・日本人を対象にした日本語の文章を、単純に簡単な言葉へ書き換えるだけではNG。
情報を伝えたい相手の立場を思いやる想像力が重要

14. 絵、写真、図表などを使って分かりやすくする

本文 上記の表にもおなじみの品、料金はそれぞれ変えてあります。

ご注文の種類・金額については、以下のとおりです。

- ・お茶(半透明) 1杯 5円
- 45円 = 45円 / 30円 = 30円 / 30円 = 30円 / 10円 = 10円 / 5円 = 5円
- ・お茶(半透明) 1杯 5円
- 45円 = 45円 / 30円 = 30円 / 30円 = 30円 / 10円 = 10円 / 5円 = 5円
- ・お茶(半透明) 1杯 5円
- 45円 = 45円 / 30円 = 30円 / 30円 = 30円 / 10円 = 10円 / 5円 = 5円

利用状況に応じてお選びいただけます。商品の状態によっては、価格が異なる場合があります。

品名	単位	45円	30円	20円	10円	5円
お茶(半透明)	1杯	45円	30円	20円	10円	5円
お茶(半透明)	1杯	45円	30円	20円	10円	5円
お茶(半透明)	1杯	45円	30円	20円	10円	5円

●学校教育でも有効な方法：「リライト教材」*文部科学省推奨

子どもの日本語力にあわせて、教科書などの文書をわかりやすく書き換えた教材

→表現はやさしく、内容は学年相当レベルで。

教員に必要とされている力は、社会においても「やさしい日本語」と共通する部分がある。

●翻訳されたものの特徴 「やさしい日本語」との違い

長所：母語で詳しい内容を知ることができる。誤解が生まれない。

短所：翻訳できる言語に限られる。翻訳するための時間が必要。文章を理解するための言語力が必要。

ポイントを伝えるやり方と、詳しい情報を伝えるやり方とがある。

文学小説など、詳しい内容を伝える時は「やさしい日本語」だけでは無理。目的によって、使い分ける必要がある。

●高校での日本語学習の例

災害が起こる前や災害時にどのように行動すべきか(防災)、また情報弱者にならないために、どのようにして必要な情報を獲得し、家族・親族と共有するのかを学ぶ。

「災害」という概念を説明するために地震、台風、津波、避難する=逃げる
…周りの言葉から教える。

※高校でもルビをふり、やさしい日本語の考え方で授業をしている。



やさしい日本語変換に挑戦しよう!＝伝達目的を意識する

もとの文章 「会社指定の作業着、ヘルメット、手袋を着用して、昨日と同じ時間に集まってください」

ステップ1 日本人にわかりやすい文章

- ・伝えたいことを整理して情報は取捨選択
- ・3つ以上の情報は箇条書き



「昨日と同じ時間に、会社指定の作業服・ヘルメット（頭を守るもの）・手袋を持って集まってください」

ステップ2 外国人にもわかりやすい文章

- ・簡単な言葉を使う
- ・漢字の量に注意して、ふりがなをふる。

「2020年〇月〇日午前8時に、会社が決めた作業服・ヘルメット（頭を守るもの）・手袋を持って、会社に来てください」

やさしい日本語を学んだ人が、情報をやさしい日本語に置き換えて、それを君津に住んでいる外国につながる人が母語にしてくれれば、必要な人に必要な情報がわかりやすく発信できる。

現在は、「やさしい日本語」で検索すると、関連サイトがたくさんある。用語の書き換え例や、変換練習もできる。

最後に…

「やさしい日本語」は、日本語を母語としない人だけでなく、子ども、高齢者、障がいをもった人…誰にとっても必要な日本語です。

君津でぜひ「やさしい日本語」を使おう!

《質疑応答》

Q:日本語検定ばかりに一生懸命で、会話でのコミュニケーションに積極的でない学習者に対してどのような声かけをすべきか。

A:私たちの言語活動は4つの技能（右図）に分かれる。その全てにやさしい日本語は関わっている。

日本語検定には「話す」試験項目がない。教え方も色々変わってきている。教室は自然なインプットを与える場としてとらえ、文法学習は家庭学習にまわし、話すことを強制しない指導法もある（ナチュラル・アプローチ）。

	情報伝達の方向	
	受動的技能	産出的技能
聴覚媒体 (音声)	聞く	話す
視覚媒体 (文字)	読む	書く

《ナチュラル・アプローチ指導の留意点》

正しい日本語を、教える側がたくさん話す。関心のあるテーマで、生徒が話したくなるまで待ち、話すことを強制しない。コミュニケーションを妨げない程度の間違いは訂正しない。

○動機付け（やる気）

外発的動機づけと、内発的動機付け（右図）

内発的動機付けを高める要因【有能性・自律性・関係性】

- ・統合的動機付け 目標言語社会への好意的な態度に基づく
(その社会に溶け込みたい、一員とみなされたい)
- ・道具的動機付け 将来のキャリアなど有利な側への関心に基づく (進学したい、より良い仕事待遇を得たい)



その学習者がどちらの動機づけの比率が高いか、どうして日本語を学んでいるかを探る必要がある。

私たち関わる者が、動機付けが途切れないように、次につながるように呼びかけることも大事。

動機付けは変わってくる。今は検定にしか興味がなくても、時間が経つともっと皆と話してみたいと思うかもしれない。

4技能のうち、今はどれに重きを置いているか、イメージを持つと良い。

Q：わかりやすい日本語にするには、子ども向けに作られた文章をベースにした方がよいのか。
やさしい日本語だと、大人の人は馬鹿にされたように受け止めるという話をよく聞くが。

A：外国につながる子どもに授業をする時の指導ポイントは、「言葉はやさしく、内容は学年相当で」。
やさしい日本語と子どもの日本語は違う。やさしい日本語のつもりで、子どもの日本語を使うと、大人は馬鹿にされたように感じることもある。認知力は子どもと大人は違う。媒介する日本語が JLPT 4 級でも、認知力は大人。子ども向けに作られたものをやさしい日本語にするのは、大人にはしない方がよい。たとえば広報きみつは大人向けに作られたものなので、必要なポイントはそのまま使って大人に伝え、子どもに対する伝え方とは分けて考える。

文責：周西公民館 三枝

〈参考文献〉

静岡県「やさしい日本語」の手引き

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/documents/yasahitebiki.pdf>

横浜市「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して

<http://www.city.yokohama.lg.jp/lang/ej/01.standard.all.pdf>

文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイド」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html